

可動 セフィット
 間仕切 可動間仕切収納
 収納 アッパーBOXタイプ/フィラーBOXタイプ

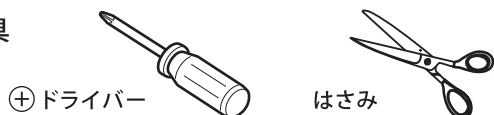
◆ もくじ

確認事項	表紙
1. 製品構成図	表紙
2. 部材・部品表	1
3. 製品寸法図	2
4. 納まり参考図	2
5. アッパーBOX組み立て	3
5. フィラーBOX組み立て	12
6. 据え付け	14
7. 施工後の確認	15

お願い

施工後、この施工説明書と取扱説明書を必ずお客様にお渡しください

使用工具



施工説明書

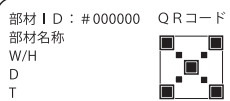
- 作業開始前に、この施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- カスタムパーツをご注文の場合、別紙「カスタムパーツ 施工説明書」もあわせてお読みください。

安全に関するご注意

収納ユニット本体の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。

施工時のご注意

- 開梱後、施工前に部材・部品に損傷等がないかどうかご確認ください。組み立ててからの部品の交換は、お受けできない場合があります。
- 付属の部品以外の部品を使用して組み立てないでください。
- 作業は必ず手回しのドライバーで行ってください。組立金具等の破損の原因となりますので、電動ドライバーは使用しないでください。
- 設置前に長時間部材を立てかけたりすると、部材が反る恐れがあります。
- 組み立てる前に、棚板以外に貼っている部材シール（下図参照）をはがしてください。（ゆっくりはがすと、きれいにはがれます）



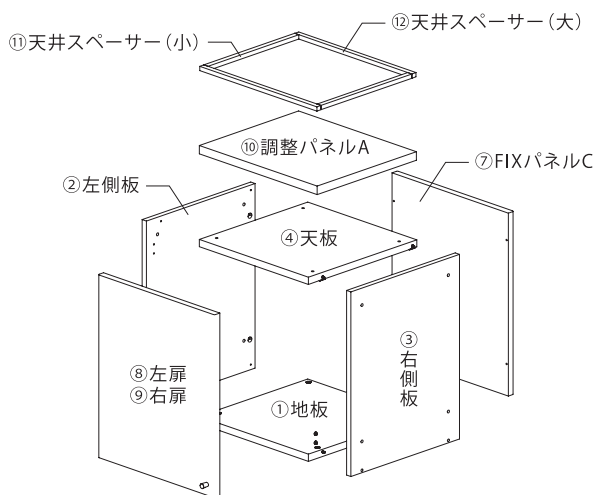
! この絵表示は必ず実行していただく「強制内容」を示します

! 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをされた場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

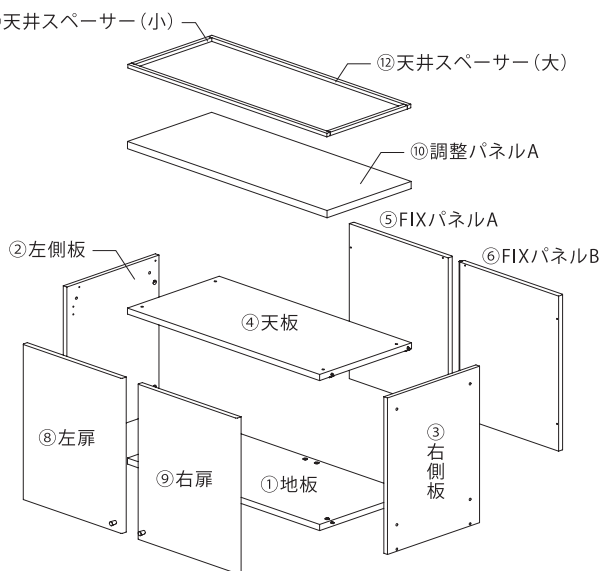
1 製品構成図

アッパーBOXタイプ

◆MP2-P0505

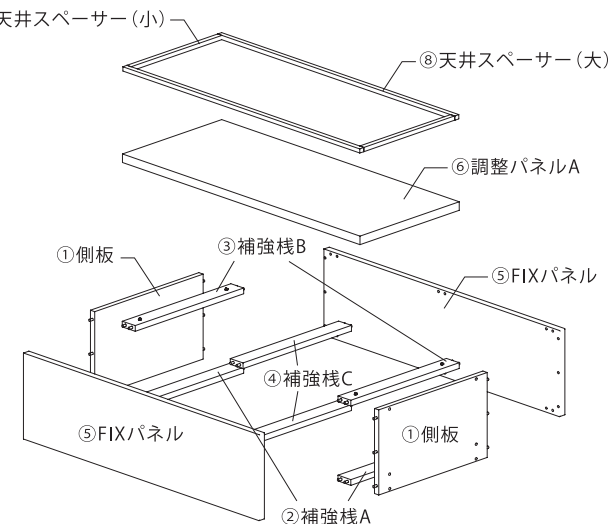


◆MP2-P1005



フィラーBOXタイプ

◆MP2-F0505/MP2-F1005



2 部材・部品表

部材表	アッパー BOX	
	MP2-P0505	MP2-P1005
① 地板	1	1
② 左側板	1	1
③ 右側板	1	1
④ 天板	1	1
⑤ FIXパネルA	—	1
⑥ FIXパネルB	—	1
⑦ FIXパネルC	1	—
⑧ 左扉	どちらか1	1
⑨ 右扉		1
⑩ 調整パネルA	1	1
⑪ 天井スペーサー(小)	2	2
⑫ 天井スペーサー(大)	2	2
	フィルター BOX	
	MP2-F0505	MP2-F1005
① 側板	2	2
② 補強棧A	2	2
③ 補強棧B	2	2
④ 補強棧C	—	2
⑤ FIXパネル	2	2
⑥ 調整パネルA	1	1
⑦ 天井スペーサー(小)	2	2
⑧ 天井スペーサー(大)	2	2

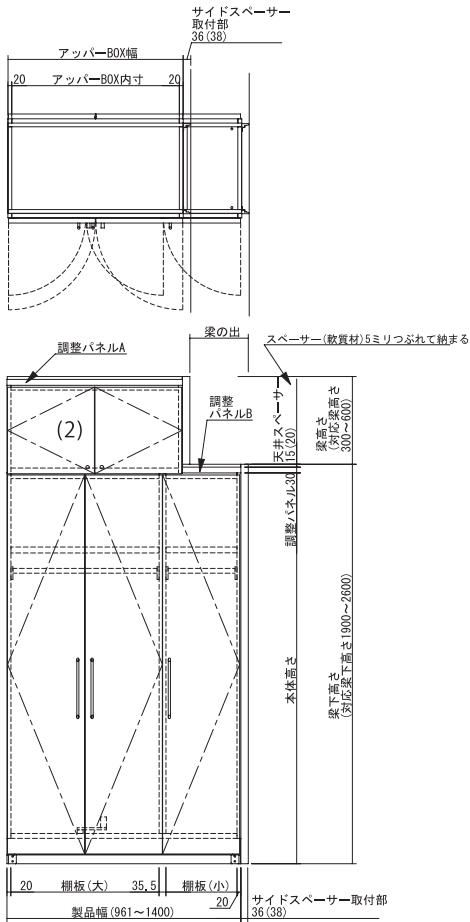
部品表		アッパー BOX		フィルター BOX
		MP2-P0505	MP2-P1005	MP2-F0505/F1005
1	接着剤	—	—	1
2	連結シャフト	8	12	—
3	シャフトB (φ5穴用)	4	4	—
4	スライド 蝶番座金	2	4	—
5	蝶番穴 キャップ	4	—	—
6	センサー式 耐震ロック本体	1	2	—
7	センサー式 耐震ロック受け	1	2	—
8	耐震ロック 固定ビス	4	8	—
9	締付金具 カバー	4	4	—
10	スライド 蝶番	2	4	—
11	蝶番 取付ビス	4	8	—
12	ツマミ	1	2	—
13	ツマミ 取付ネジ	1	2	—
14	フェルト 戸当たり	2	4	—
15	戸当たり ダンパー	1	2	—
16	調整パネル 連結ボルト(M6×33)	4	4	—
17	調整パネル連結ボルト (FB用)(M6×26)	—	—	4
18	調整パネル 連結キャップ	4	4	4
19	ヘリサート穴 キャップ	4	4	12
20	アッパーBOX連結金具 (ボルト・ナット)	4組	4組	—
21	アッパーBOX 連結キャップ	8	8	—
22	穴隠しキャップ	16	16	—

【ご注意】

オプションA(扉なし)などで注文時に選択されたオプションにより一部部材・部位品の員数が異なります。
同封されてる姿図か、ダンボールのラベルに記載されている品番を御確認ください。

3 製品寸法図

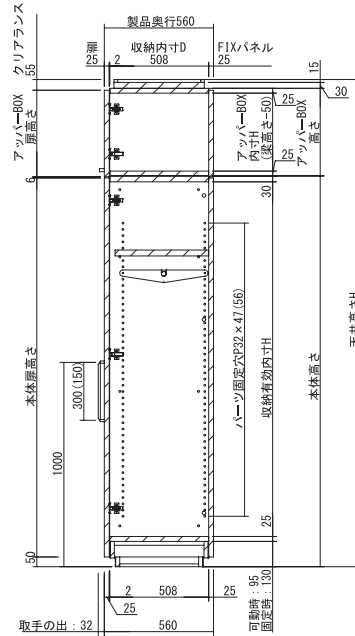
(1) MP2-HB1505X 1台 (2) MP2-P1005X 1台の場合



(1)

図は梁欠きありの場合
 梁欠き無しの場合は、
 ①アッパーBOX及び調整パネルは本体同幅
 ②調整パネルはAのみ
 となります

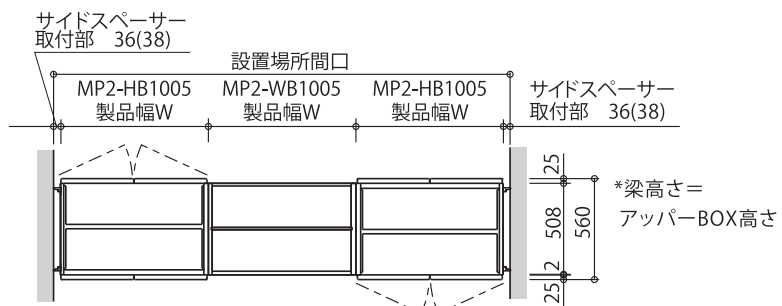
寸法表	MP2-P0505	MP2-P1005
アッパーBOX 製品幅	300~550	551~1100
寸法表	MP2-F0505	MP2-F1005
フイラーBOX 製品幅	300~550	551~1100



4 納まり参考図

完全間仕切り

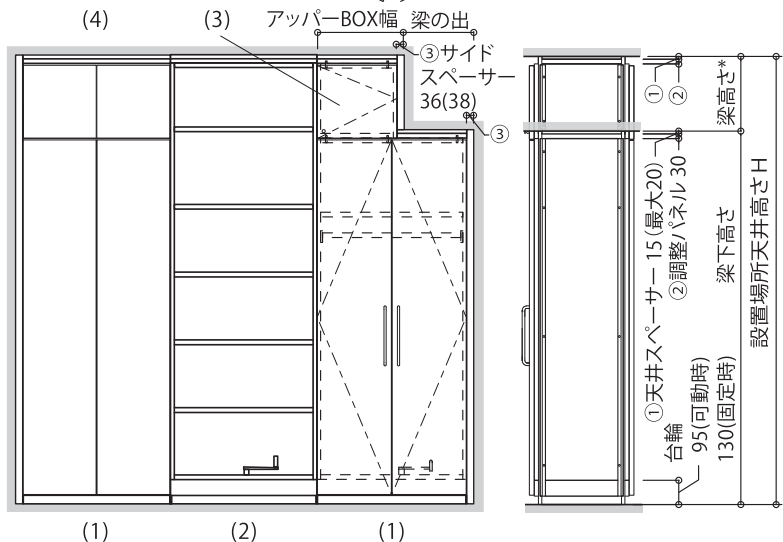
- (1) MP2-HB1005X 2台
- (2) MP2-WB1005X 1台
- (3) MP2-P0505(R) X 1台
- (4) MP2-P1005X 1台



(4)

注意

かならず天井又は梁に**突っ張って設置**してください。
 天井に突っ張っていない場合、衝撃や地震の振動で収納本体が動き、接触してケガをしたり室内・製品が破損する恐れがあります。



(1)

(2)

(1)

5 アッパーBOX 組み立て

はじめに 部品の確認

はじめに金物セットの梱包を開けてください。

組み立てに必要な

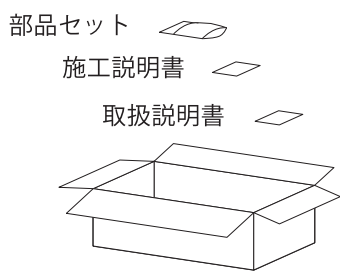
- 部品セット
- 施工説明書

が同梱されています。

※取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※本体の組み立てについては、別紙のスタンダードタイプ施工説明書、ダブルシェル施工説明書をご確認ください。

◆ 金物セット梱包



◆ ブロックパック梱包

使用順に区切られ、連続した袋に詰められています（これをブロックパックといいます）。

組み立ての際、ブロックパックは下から順番に開けて使用してください。

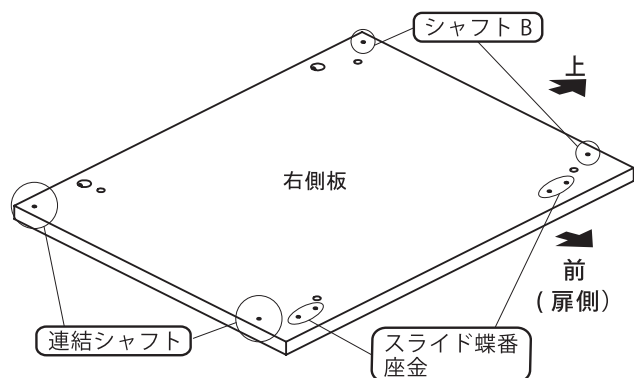
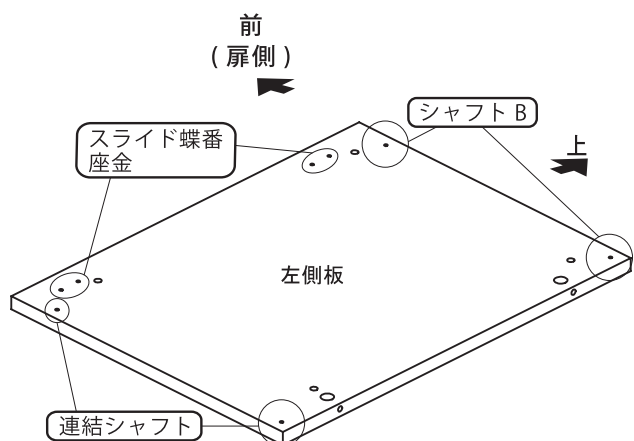
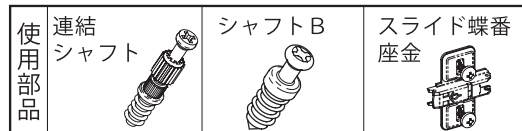


使用順①

壁養生材等にテープで貼って下げて使うと便利です。

5-1 側板に部品を取り付ける

側板の加工穴に金物を取り付けてください。



Point

このとき内部パーツの部品も付けておくとスムーズです。

金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損傷や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。



連結シャフト

⊕ドライバーでしっかり締め付ける。

右回し

⚠ ネジ頭の破損に注意

シャフトB

⊕ドライバーでしっかり締め付ける。

右回し

⚠ ネジ頭の破損に注意

スライド蝶番座金

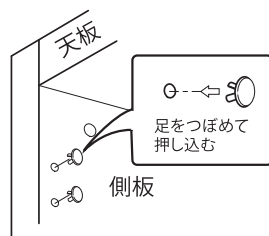
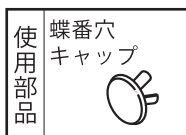
座金にセットした樹脂ブッシュを側板の穴に根元まで押し込み、ビスを締め付ける。

矢印が前 (中央の刻印)

※MP2-P0505(1枚扉)の場合、スライド蝶番座金は扉の吊元側の側板へ取り付けてください。

扉を取り付けない方の側板の穴には蝶番穴キャップを取り付け願います。

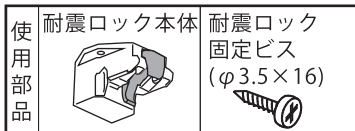
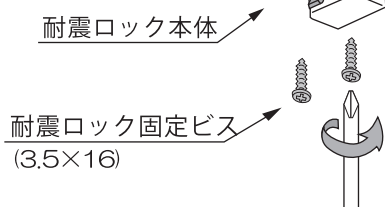
オプションA (扉なし) の場合



5-2 天板に耐震ロックを取り付ける

天板裏面の小孔に耐震ロック本体をビスで固定してください。

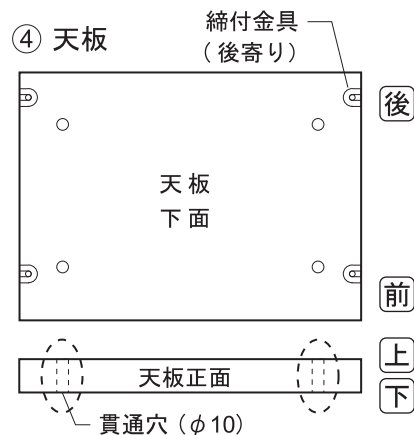
※ストッパー（紙製）はつけたまま



締め付けが不十分な場合、通常の開閉に支障をきたしたりロック機構が正常に動かなくなる恐れがあります。

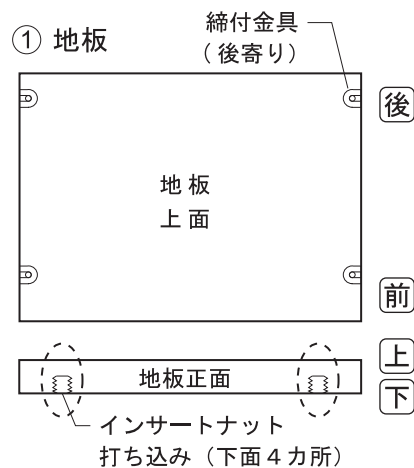
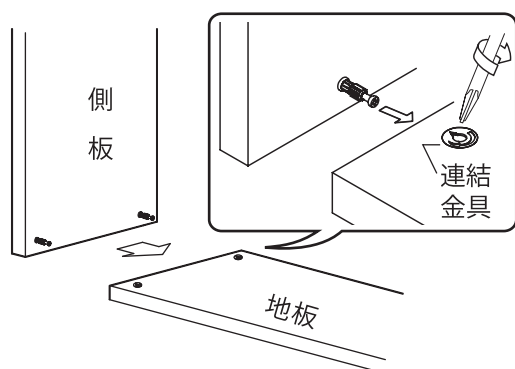


天板・地板の見分け方



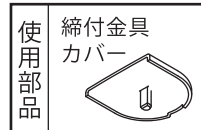
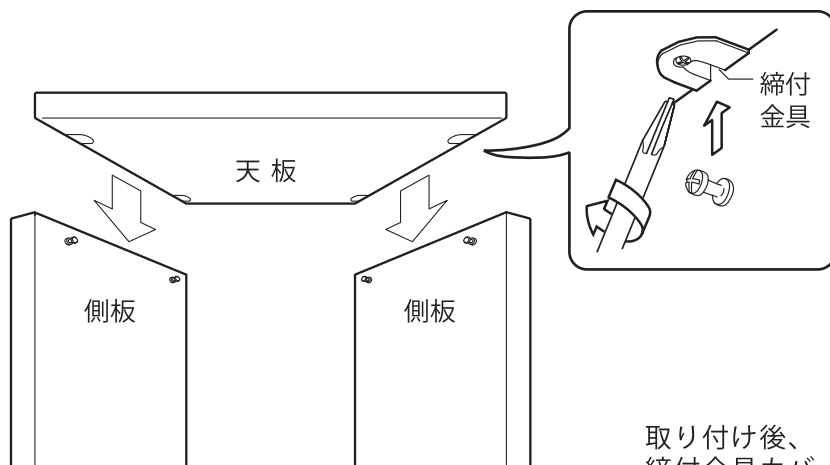
5-3 側板を取り付ける

側板に取り付けた連結シャフトを、地板の連結金具に差し込み、⊕ドライバーで右に回して締め付けて固定します。

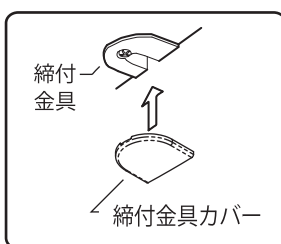


5-4 天板を取り付ける

側板に取り付けたシャフトAに天板の締付金具をはめ込み、⊕ドライバーで右に回して締め付け、固定します。



金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。



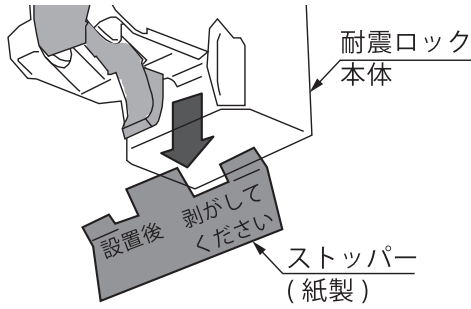
取り付け後、締付金具カバーを取り付けてください。

5 アッパーBOX 組み立て

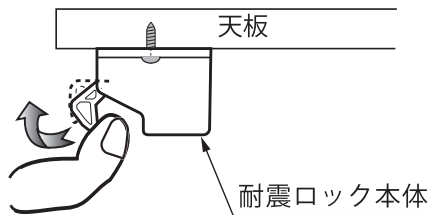
5-5 耐震ロックの作動確認

天板固定後、ロック部分が動くかどうか、必ず確認してください。

① ストッパーをはがしてください。



② ロック部分が動くかどうか確認してください。



「5-13 扉を取り付ける」の前に、必ずストッパーを剥がしてください。そのまま使用すると耐震ロックが破損する恐れがあります。



耐震ロック本体と収納ユニットの水平・垂直が出ているにも関わらず動きが悪い場合は、一旦外して水平な台の上に置いてロック部分を指で動かし、作動するかどうかをご確認ください。作動しない場合は、お手数ですが、お問い合わせください。

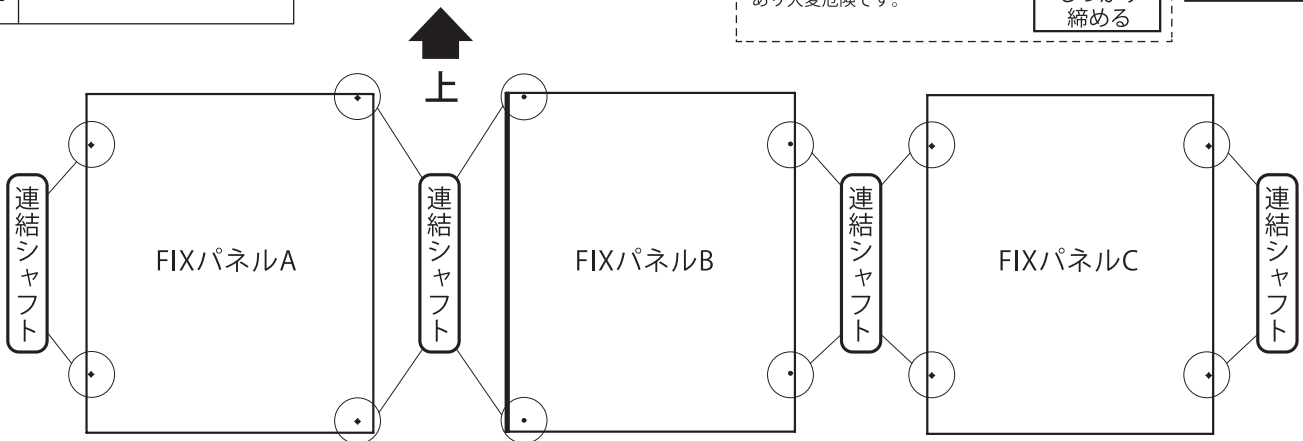
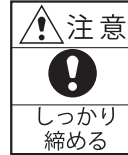
5-6 FIX パネルに部品を取り付ける

FIXパネルの加工穴に金物を取り付けてください。



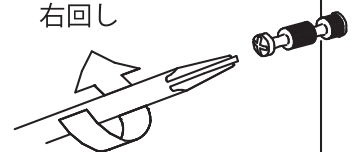
ネジ頭の破損に注意

金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。



連結シャフト

右回し



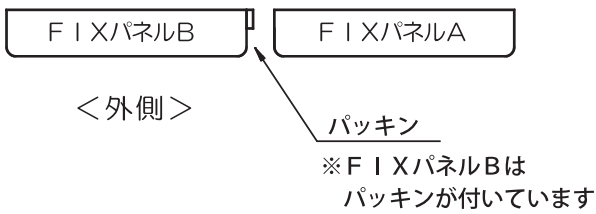
⊕ ドライバーでしっかり締め付ける

5-7 FIXパネルの取り付け順を確認する

1枚扉はFIXパネルCのみです。
2枚扉はFIXパネルBを先に取り付けてください。

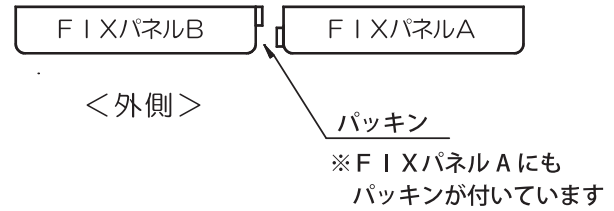
◎FIXパネルの色柄：標準（2枚扉のみ）

<内側>



◎FIXパネルの色柄：特注(2枚扉のみ)

<内側>

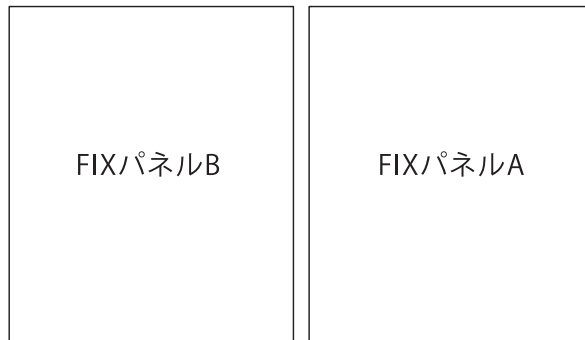


<外側から見た場合>

1枚扉



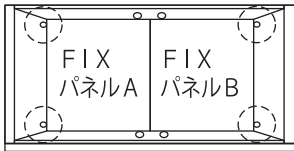
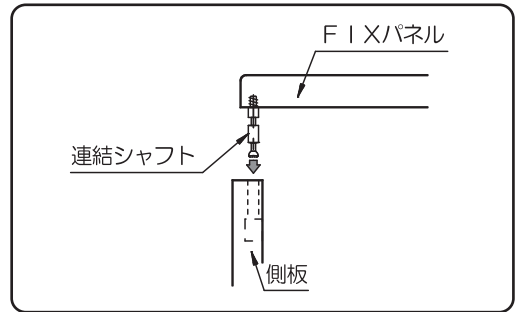
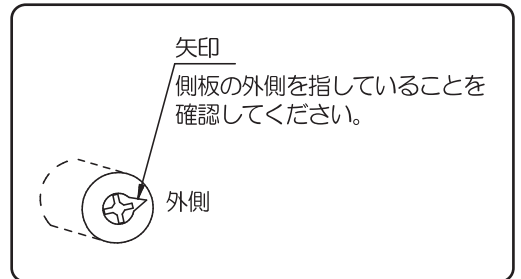
2枚扉



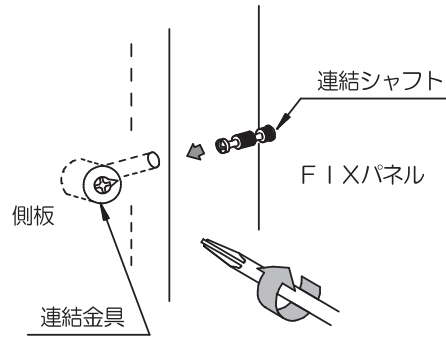
5 アッパーBOX 組み立て

5-8 FIXパネルを取り付ける

- ①FIXパネルの取り付け前に
締め付け金具の矢印が、右図のように
側板の外側に向いているか確認してください。
- ②両開き部のFIXパネルBの連結シャフトを
側板の連結金具に差し込んで
中心と下の部分を⊕ドライバーで仮止めしてください。
FIXパネルAも同様に仮止めしてください。

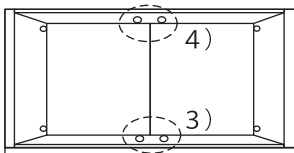


※図はP1005(2枚扉)の場合

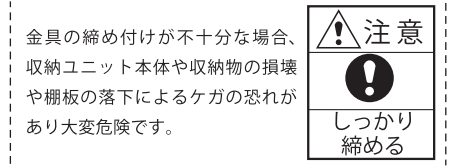
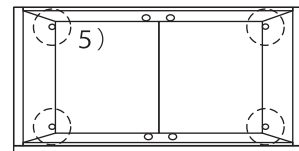
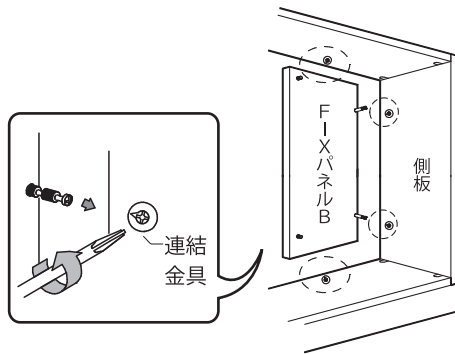


- ③FIXパネルA・Bのパッキンを合わせて、下部の連結シャフトを
地板の連結金具に後ろから押し込めながら取り付けます。
- ④同様に上部の連結シャフトも天板の連結金具に取り付けます。
(天板を少し押し上げながらはめるとスムーズに
取り付けやすいです。)

- ⑤連結金具をすべて固定してください。

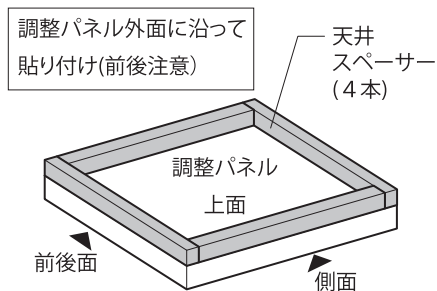


※図はP1005(2枚扉)の場合

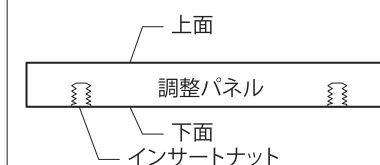


5-9 調整パネルに天井スペーサーを取り付ける

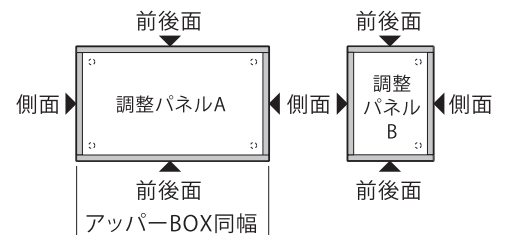
調整パネル上面に天井スペーサーを貼り付けます。



※ 調整パネルには、上下がありますのでご注意ください



※ 調整パネルの方向と、天井スペーサー貼り方向



5-10 アッパー BOX を本体に固定する①

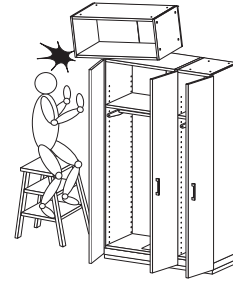
① アッパーBOXの取り付け

本体の上にアッパー BOX を乗せ、側板外面同士を揃えて、連結ボルトで固定します。

② 調整パネルの取り付け

アッパー BOX の上に「調整パネル A」を、梁欠き対応の場合は本体の上に「調整パネル B」を乗せて、連結ボルトで固定します。

使用部品	連結ボルト (M6×40)	連結キャップ	シャフト A
------	---------------	--------	--------

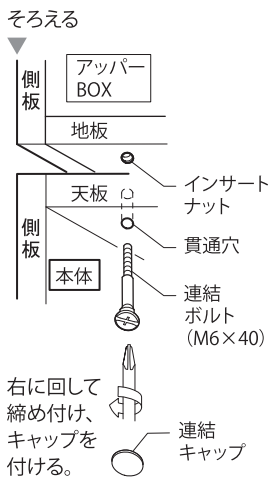


必ずふたり以上で作業してください。アッパー BOX の落下によるケガの恐れがあり、大変危険です。

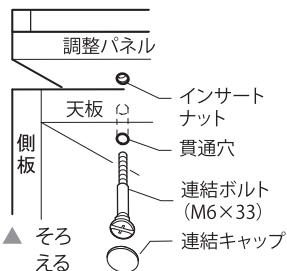
5-11 アッパー BOX を本体に固定する②

◆アッパー BOX と本体が同幅の場合

① アッパー BOX と本体の連結



② 調整パネルの連結



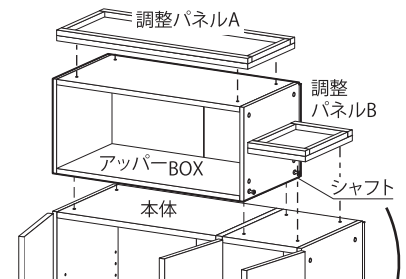
◆梁欠き対応の場合

①アッパー BOX の側板にシャフトを取り付ける。

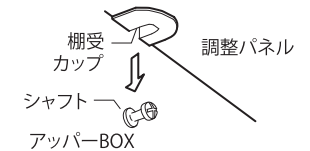
②シャフトと調整パネルの棚受カップを組み合わせる。

③連結ボルトで固定する。
本体→アッパー BOX
本体→調整パネル B
アッパー BOX →調整パネル A

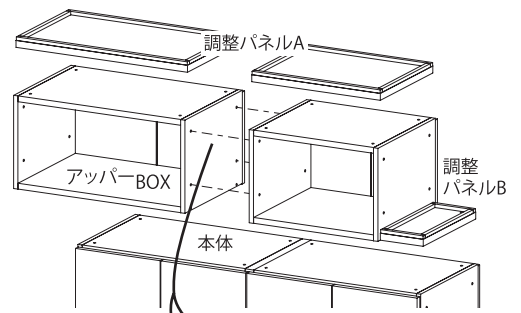
それぞれ、連結ボルトを右に回して締め付け、キャップを付ける。



<シャフト部 拡大図>

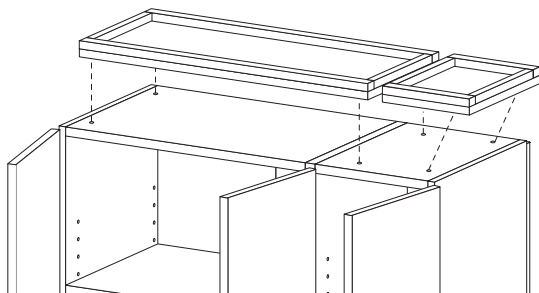


※ アッパー BOX を連結



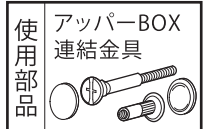
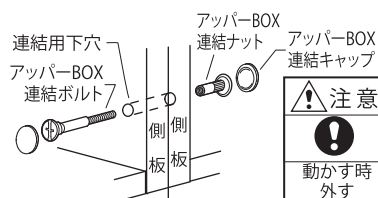
UB 横連結用本体・アッパー BOX を下ろしてご使用いただく場合

本体天板に直接調整パネルを取り付けます。



下ろしたアッパー BOX は、地板の下面に専用脚（別売）を取り付けて使用することもできます。

収納ユニット同士を並べて、スキマが気になる場合アッパーBOX連結金具で収納ユニット同士を連結します。

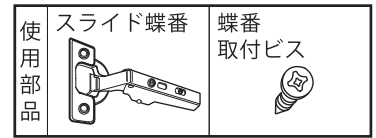
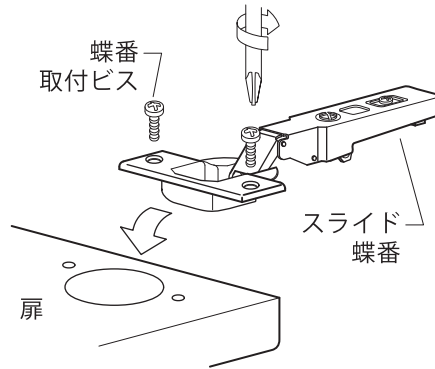


連結したまま収納本体を昇降させると、収納本体が破損する原因となります。必ず連結金具を外してください。

5-12 扉に部品を取り付ける

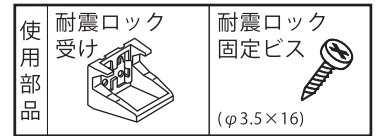
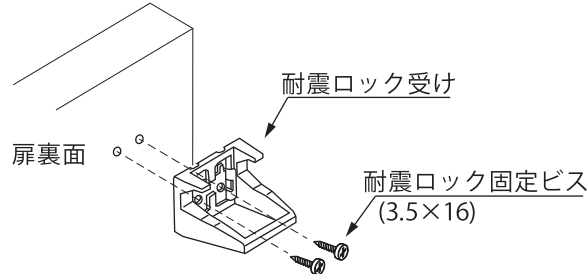
◆蝶番の取り付け

- ①カップホールに蝶番を奥まで押し込んでください。
- ②蝶番取付ビスをしっかりと締めてください。



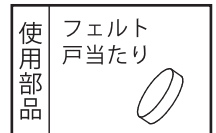
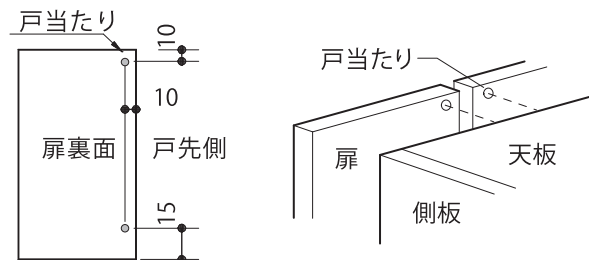
◆耐震ロックの取り付け

- ①扉の裏面の小孔に耐震ロック受けをビスで固定してください。



◆戸当たりの取り付け

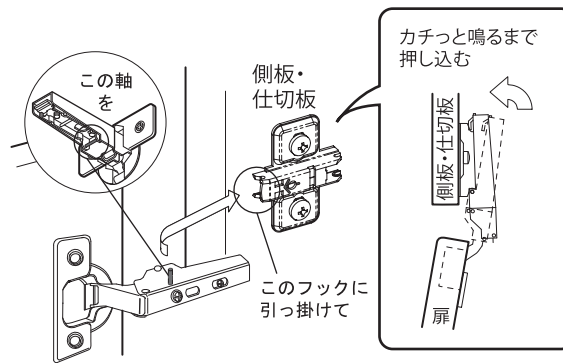
- 扉の裏面の天・地板が当たる戸先部分に戸当たりを取り付けてください。



5-13 扉を取り付ける

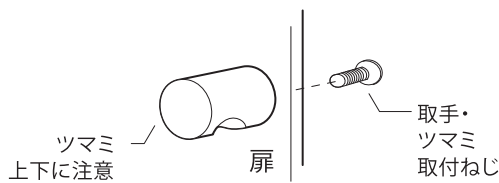
◆扉の吊り込み

- 蝶番を開いた状態で座金に取り付けてください。
- 蝶番裏側の軸を座金のフックに引っ掛けます。
- 蝶番奥側をカチッと鳴るまで座金に押し込み、扉を取り付けます。



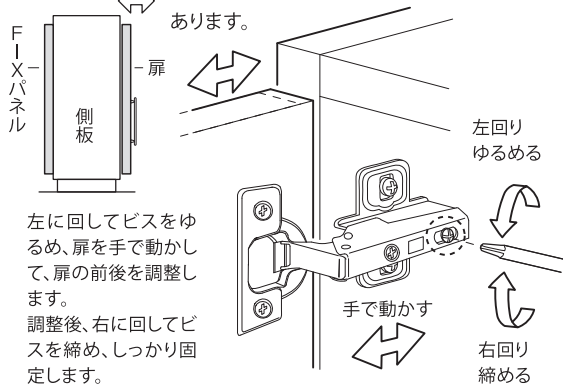
扉を取り付ける前に、耐震ロック本体のストッパーを剥してください。蝶番が座金にしっかり固定されているかどうか、扉を開閉して確認する。

◆取手の取り付け

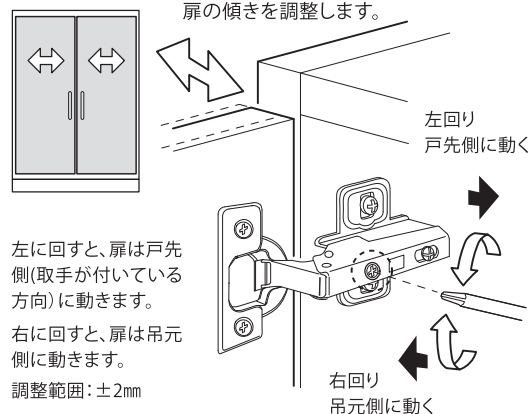


◆扉を調整する

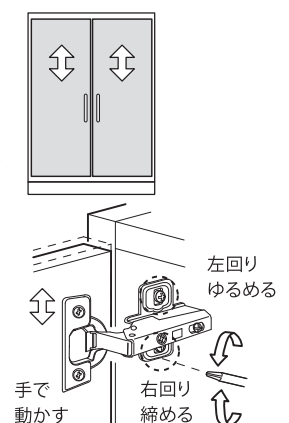
- 前後調整** 扉が開まりきらない場合など、キャッチ力の調整効果があります。



- 左右調整** 扉同士のスキマや、扉の傾きを調整します。

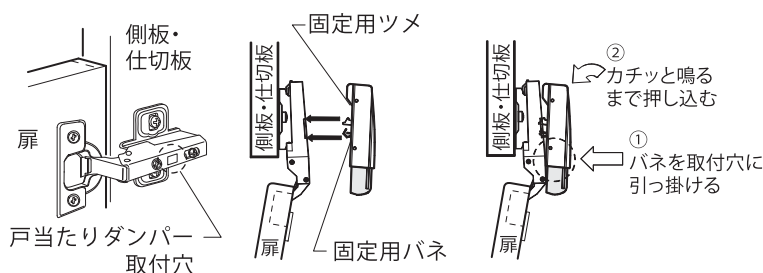
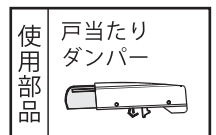


- 上下調整**

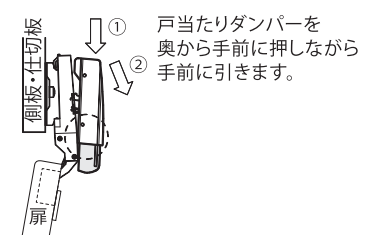


◆戸当たりダンパーの取り付け

- 各扉1個ずつ取り付けます。下の蝶番への取り付けを推奨します。
- 蝶番の戸当たりダンパー取付穴に、固定用ツメと固定用バネをそれぞれ合せてください。その後、固定用バネを蝶番の取付穴に引っ掛け、戸当たりダンパー後部をカチッと鳴るまで蝶番に押し込み、取り付けます。

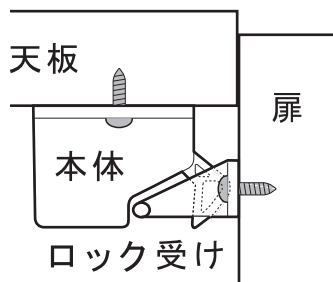


◆戸当たりダンパーの外し方



5-14 耐震ロック受けの作動確認

扉を手で開け閉めして、作動確認を行ってください。



	不具合項目	対処方法
!	開閉の際 引っ掛かりがある	固定ネジを少しゆるめて、 本体またはロック受けの位置を調整する。
	扉が閉まらない	ロック受けの上下が正しいかどうかと確認し、 間違っていた場合は取り付け直す。
※不具合が解消しない場合は、お手数ですがお問い合わせください。		

5 フィラー BOX 組み立て

はじめに 部品の確認

はじめに金物セットの梱包を開けてください。

組み立てに必要な

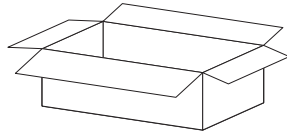
- 部品セット
- 施工説明書

が同梱されています。

※取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

◆ フィラー BOX 金物セット梱包

部品セット
施工説明書
取扱説明書



◆ ブロックパック梱包

使用順に区切られ、連続した袋に詰められています（これをブロックパックといいます）。

組み立ての際、ブロックパックは下から順番に開けて使用してください。



使用順①

壁養生材等にテープで貼って下げて使うと便利です。

5-15 フィラー BOX の組み立て

- FIXパネルのダボ穴に接着剤を入れてください。（図1・2）
- FIXパネルのダボ穴に側板、補強棧A・B・Cを入れて組み立ててください。（図2）

※補強棧の取付位置に注意してください。
接着材を使用しているため修復できなくなります。

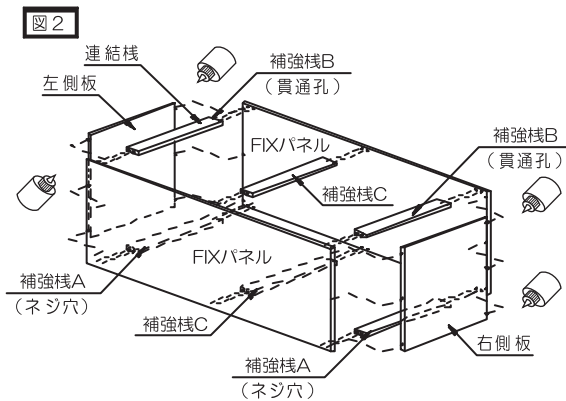
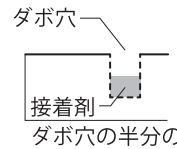
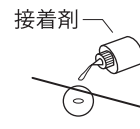


図1



固定が不十分ですと組み立てに影響する場合がありますので、接着剤を使用し確実に差し込んでください。

5-16 調整パネルの取り付け

- 本体に調整パネルを調整パネル連結ボルトで取り付けてください。（図1、図2）
- 調整パネル連結ボルトに連結キャップを取り付けてください。（図2）



図1

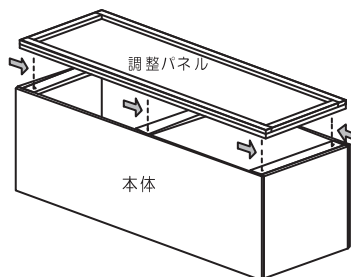
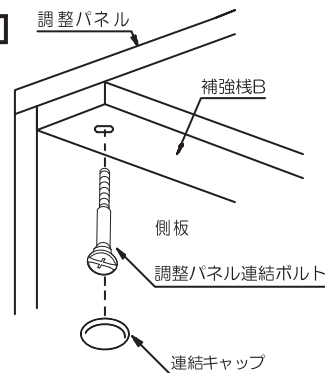


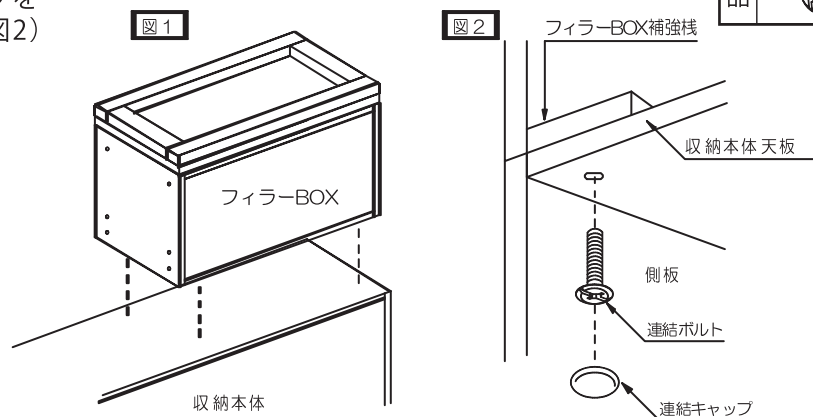
図2



5 フィラーBOX 組み立て

5-17 本体との連結

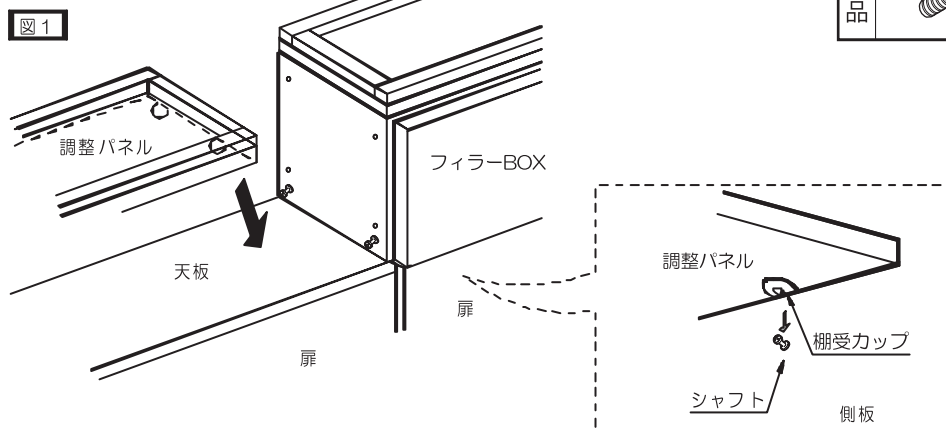
- 本体にフィラーBOXを連結ボルトで取り付けてください。(図1・図2)
- 連結ボルトに連結キャップを取り付けてください。(図2)




使用部品	連結ボルト (M6×40)	連結キャップ
		

5-18 調整パネルの取り付け ※梁のあるところへ設置する場合

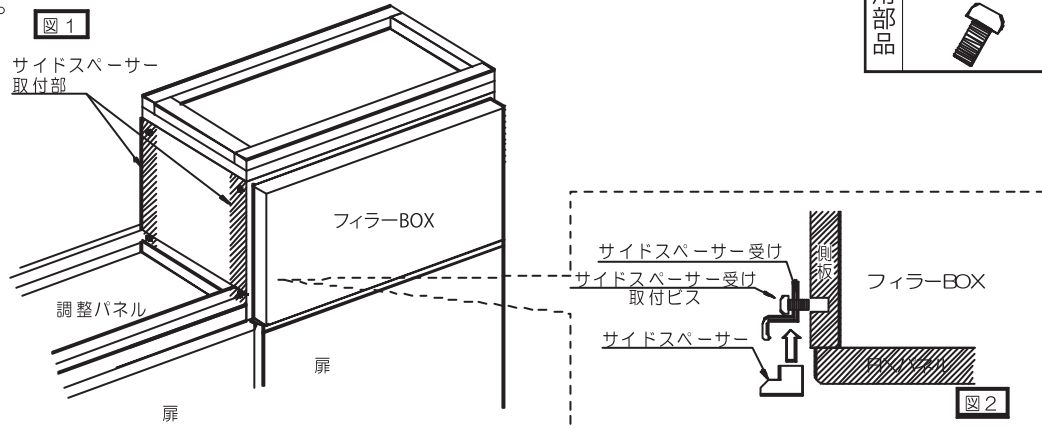
- フィラーBOXの側板にシャフトを取り付け調整パネルの棚受カップと組み合わせて設置してください。(図1)



使用部品	シャフト
	

5-19 サイドスペーサーフィラーBOX用取り付け

- フィラーBOX側板のインサートナットにサイドスペーサー受けをビスで取り付けてください。(左右2本ずつ)



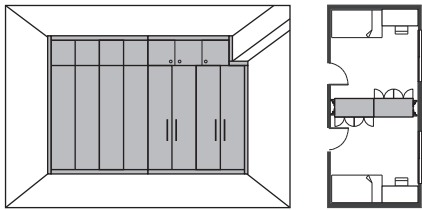
使用部品	サイドスペーサー受け取付ビス
	

6 据え付け

はじめに 配置方法と配置用部品の確認

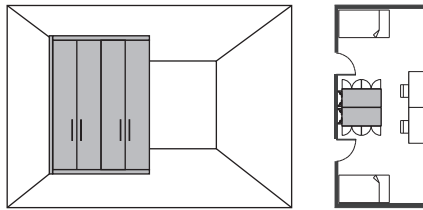
◆ 配置方法の種類

① 完全間仕切り



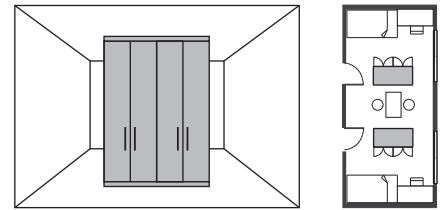
ワンルームを完全に間仕切りして2つの独立した個室をつくる。

② 半間仕切り



ワンルームを部分的に間仕切り。片側を壁に寄せ、片側をオープンにする。

③ 可動家具

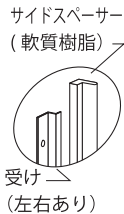


ワンルームをゆるやかに間仕切り。収納本体の両側をオープンにする。

◆ 配置用部品

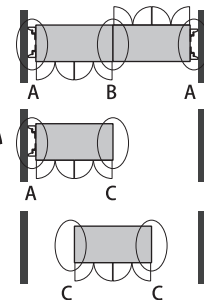
A. 側面を壁にぴったり寄せる

壁と収納本体側面との間をスポンジ状の軟質材サイドスペーサーでふさぎます。



使用部品

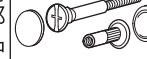
サイドスペーサー受け
取付金具セット



B. 本体同士を連結する
本体同士を並べて設置し、明かり漏れなどが気になる場合連結します。

使用部品

本体連結金具



C. 側面オープン使い
本体側面がオープンするとき、穴隠しキャップで本体連結穴をふさぎます。

使用部品



Aの場合 6-1 サイドスペーサー受けを取り付ける

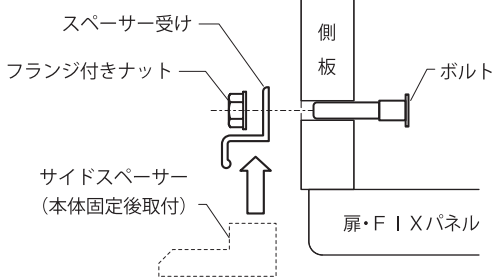
壁面側に来る側板の貫通穴にサイドスペーサー受けを固定します。

サイドスペーサー受けには上下左右がありますのでご注意ください。

※サイドスペーサーセットはオプションです。

使用部品

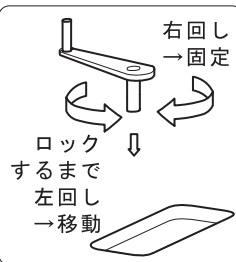
サイドスペーサー受け
取付金具セット



6-2 配置場所に本体を移動し、固定する

◆ 移動

ハンドルを左回りに回すと、収納本体と天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納本体を動かすことができます。



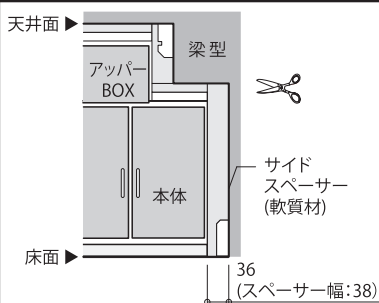
照明器具・家具・床に置いたもの等に当たらないよう十分注意して動かします。

◆ 固定

設置場所でハンドルを右回りに回して収納本体を天井に突っ張り、固定します。

ロックするまでハンドルを右に回すと、天井スペーサーが5mmつぶれる設計です。
天井高さにバラツキがある場合、上げすぎないようにご注意ください。

Aの場合 6-3 サイドスペーサーを取り付ける



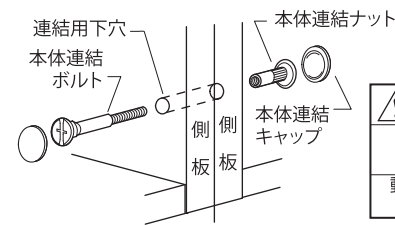
壁面と側板の間に、サイドスペーサーを押し込み、寸法・形状を調整します。

サイドスペーサーは長尺で出荷されますので、各サイズに合わせてカットしてください。

幅木・廻縁の形状に合わせてカットすると、ぴったり納まります。

Bの場合 6-4 本体同士を連結する

収納ユニット同士を並べて、スキマが気になる場合本体連結金具で収納ユニット同士を連結します。



連結したまま収納本体を昇降させると、収納本体が破損する原因となります。必ず連結金具を外してください。

7 施工後の確認

項目	詳細	チェック	項目	詳細	チェック
1	組み立て部品が余っていない	<input type="checkbox"/>	6	ジャッキアップハンドルは所定の収納場所に戻されている	<input type="checkbox"/>
2	仕切板・固定棚・天板の締付金具の締め忘れがない	<input type="checkbox"/>	7	天井スペーサーが正しく取り付けられている (本体を固定した時、天井との間にスキマがあいていない)	<input type="checkbox"/>
3	本体各部にガタツキや隙間がなく、しっかり固定されている	<input type="checkbox"/>	8	サイドスペーサーが正しく取り付けられている	<input type="checkbox"/>
4	扉は正しく取り付けられ、開閉できる	<input type="checkbox"/>	9	製品に傷や欠け、塗装のはがれ等がない	<input type="checkbox"/>
5	扉を閉めたとき、「パタン」という乾いた大きな音がしない	<input type="checkbox"/>	10	お客様と打ち合わせた通りに「可動間仕切収納」が配置されている	<input type="checkbox"/>

